

功労者表彰や役員改選

県訪問介護事業所協会の総会

県訪問介護事業所協会は22日、2023年度総会を和歌山市の和歌山ビッグ愛で開いた。功労者への表彰、事業計画や予算案の承認などを行い、役員改選では14人の新理事を選任し、理事の互選で島由佳子会長の再任と副会長3人が決まった。任期はいずれも2年。



あいさつする島会長と新理事の皆さん

同協議会は2007年、介護従事者の資力向上を目的に設立された。現在は、新型コロナウイルス感染症の流行による業務への影響を踏まえ、事業所同士や関係機関との連携を図り、

新型コロナウイルス感染症の流行による業務への影響を踏まえ、事業所同士や関係機関との連携を図り、

が続き、マスクの着用が必要な場面も多いなど、他業種とは異なる介護事業所の現状にふれた上で、急速に進む高齢化に伴う制度改正などを控える中、人手不足がさらに深刻化する恐れがあること、労働環境の改善、介護現場での働き方改革が求められていることなどを指摘。「利用者、事業者、働く職員の全てが喜ぶ当たり前の仕組みを、そして私たちが進むべき方向性を共に考えていきたい」と述べた。

表彰では、訪問介護員などとして勤続10年以上の職員14人と退任する役員2人に、表彰状と記念品が贈られた。受賞者を代表し、ヘルパーステーションハートの逸見



表彰を受ける功労者

早知さんが謝辞を述べ、「離職率が高いといわれる介護業界にあって、長く勤められる職場づくりを努めていきたい」と話した。

事業計画や予算、役員承認などの議事後、県、和歌山市の担当者講師に迎え、制度改正の注

意点や感染症対応などについての講義が行われた。承認された新役員と、表彰を受けたのは次の皆さん。

- 【新役員】◇会長 島由佳子◇副会長 市原正登◇理事 寛中谷将之◇藤田久史◇宮本保志◇中田宏史◇岸嘉奈子◇土山和也◇吉田由紀子◇青木晴彦◇東亜矢子◇大川英穂◇松田とし子◇寺岡克規◇監事 ◇島村浩◇飯内克彦
- 【永年勤続功労者】谷口美和(ホムヘルプサービスマム)◇坂部光子(口葵園)◇坂部光子

- (同)◇山口富美子(ヘルパーステーションハートフル)◇逸見早知子(同)◇井谷小枝子(ヘルパーステーションカー)◇橋爪清子(同)◇原田匠美(訪問介護)
- 【役員功労者】田中敏子(副会長、訪問介護センター春風)◇曾和京子(理事、ヘルパーステーションはるな)

しんぼう写真館
<https://wakayamashimpo.epitas.com>
 紙面に掲載した写真の他、紹介できなかった別ショットも満載。閲覧、購入はこちらから。
 SHIMPO PHOTO STUDIO